

音声から文字への5ステップス ー10パッケージの指導（15分×10回）ー

大阪教育大学 柏木賀津子

- 英語の読み書きは、英語を母語とする国でも、指導法を間違えると30%しか成功しないというデータが出ており、先生方の「指導のやりかた」が決め手となります。英国や米国でも小中学校の先生はまず、12歳までの子供に合った正しい指導法を研修を受けます。子どもは、6歳からはじめて、8歳までに「音のかたまりー先頭の音ー終わりの音ーオンセット・ライムー2文字で一つの音（例：ch/sh/ea/oo）絵本を使ったデコーディング」の指導を経てやっと正しく読んだり書いたりできるようになります。
- 日本語やイタリア語などは、文字と音が比較的一致していて、なぞれば読める言語（特に指導法を駆使せずとも90%以上が成功）であることと根本的に違います。この点が、日本全体に理解されていない点が課題です。寝屋川市で公開研究会で扱ってきた「音声から文字への5ステップス」を2019年の公開研究会では、田井小学校と北小学校が、10パッケージとして夏に研修されました。子供たちは、10段階のうち5ぐらいの時でしたが、【動物のすみか・日本のお米・道案内・防災】などの「深い内容」を学ぶときに、10パッケージの指導に拠り、読みの推測が「楽になる」ことに支えられて、内容もまた深く学ぶことができました。
- そこで、ここでは、10パッケージの最後の、**9と10段階に使える、はじめて自分で読んでみる＝「デコーディング」の小さな絵本**をお届けします。内容もシンプルすぎて、一見面白くなさそうに思う本ですが、子どもたちにとって、「自分で読める」ということの、驚きを体験できるように選びました。ただ、日本の子どもにとって、海外の絵本は内容になじみが薄いという問題があるので、小学校英語教育学会の研究において、現在、どの小学校でも使っただけの、ICTサイトや、デジタル絵本を開発中です。完成にはまだ時間がかかりますが、今回の絵本も次頁のような使い方をして、取り組んでみてください。子どもは意外に早いです。

「音声から文字への5ステップスー最初の10回パッケージ」大阪教育大学×寝屋川市

15分×10回（丁寧には、15分×2回繰り返し×10回）

グループで協力して学ぶところが重要です。4グループで協力すると、一人ひとりの活動が興味深くなり定着が早いです。

音源を使える場合は出来るだけ使しましょう。文字は印刷教科書体を使う（a × a O） 大阪教育大学 柏木真津子 <http://www.kashiwagi-lab.com> からダウンロード

回	内容	留意点	目標	ねらい	5ステップス参考ページ
1	ABCソングを歌おう（大文字）	・裏面にABCチャートを貼るなど、視覚的にも見えるようにしておく。（映像でも可能） ・アルプス一万尺（ABC一万尺）歌を歌いながら、自分が持っているカードの文字の時に、カードを挙げる。2人ずつになってABC一万尺を歌う。 ・グループ4人で協力して、アルプス一万尺に合わせてABC大文字カードを順番に並べる。	大文字の形とその順番 (大文字の形認識、i, n, d, s, i, e が定着してから小文字へ、両方を混在させないように)	大文字形認識 名前読み	6163:03:07
2	寝屋川フォニックスソングを歌おう（小文字）	・裏面にABCチャートを貼るなど、視覚的にも見えるようにしておく。（映像でも可能） ・歌を歌いながら、自分が持っているカードの文字の時に、カードを挙げる。単語メーカーゲームをする。 ・小文字の高さを意識できるようにする。（体を使って高さを体感する）	小文字の形とフォニックスの音 (小文字の形認識、f, p, u, k の音と4線の高さが定着してから、大文字と小文字のマッチングをする)	小文字形認識 音読み	12, 13
3	寝屋川フォニックスソングを歌おう	・文字は半分（13文字）程度で行う。 ・寝屋川フォニックスソングは、ここから毎時間歌う。 ・ソングの途中で「ポーズ」し、その音を明示的に確かめて発音する。（例：s, s, sun, ---u, u./ポーズ で uの音とumbrella） ・小文字の4線帯などで、【日本語との違い見つけゲームを創ろう】 特に（s/ず f/ふ c k q /く t/と z/ず）無声音は喉で明示	先頭の音と文字の一致	音韻認識	12, 13, 17
4	先頭音を聞き分けよう	・寝屋川フォニックスソングを歌う。 ・ペアで漢しゴムを1つ用意し、目標の先頭音（onset）と違う先頭音が聞こえたら漢しゴムを取る（f を目標とし、fox foot, ---box が違う等）			
5	音のたし算をしよう	・アルファベットカード（小文字）を使い、先生が3文字単語（5ステップスのカルタの単語）の中から選び、「j（ジョ）・e（エ）・t（トゥ）」と一音ずつ言い、児童はペアでカードを並べる。	音の足し算		18
6	カルタをしよう（先頭の音）	・グループ3人程度で、16枚のフォニックスの音と並ぶカルタを並べ、先頭の音を聞かせながらその音に合うカードを取る（b, b, box）。 ・三単語記憶ゲーム：16枚のフォニックスの音通りのカルタを並べ、先生が三つ続けて言うので、3人で協働して並べる（例 box, pig, lip）	先頭の音と文字の一致 音の分化 (オンセットとセグメンテーション)		55, 56 (カルタ)
7	カルタをしよう（最後の音）	・グループ3人程度で、16枚のフォニックスの音と並ぶカルタを並べ、最後の音を聞かせながらその音に合うカードを取る（ox, ox, box）。 ・三単語記憶ゲーム：16枚のフォニックスの音通りのカルタを並べ、先生が三つ続けて言うので、3人で協働して並べる（例 gl, cat, hot/la, clip, slip）	末尾の音と文字の一致 音の分化 (ライムとセグメンテーション)	音韻認識から音素認識へ	
8	カルタをしよう（真ん中の音）	・母音の歌（aeiouソング）を歌い、母音aeiouのおとを真似る。 ・裏返すと真ん中のoが出るピンゴゲームをする。ピンゴでカルタカード（cat と絵）を取るとカードを裏返すと真ん中のoと書かれているようにしておく。	真ん中の音（母音5つ）の特徴に注意を向ける	音と綴りの一致	27 母音の歌
9	二つで一つのかたまりの音	・5ステップスで「最初のかたまりの音」の8個について、発音して聞かせる。絵カードの後ろには「かたまりを表す音が書かれている」 ・Tic Tac Toeゲームをする。今度は真の音から絵カードを出てる。 (先頭：sh-ship ch-chicken cl-clip wh-what th-three など) (真ん中：oo-foot oo-spoon oi-tail oo-seal など) (末尾：ee-tree cl-circle など) ※ステップ10の「絵本読み読み」と合っていると達成感がでる。【8個程度選んでクローズドタスクを創ろう。】	二つで一つのかたまりの音		20 (ティク・タク・トゥ)
10	初めての「絵本たどり読み」	・「A Good Trick」のようなファストブックを選び、パワーポイントで読み聞かせる。（逆向き設計 Closed Task） ・1～9で頼んだ、音と綴りが出てくる絵本を頼もうとする。知らないルールが出てくるころは、挿絵の助けが良い。 ・子供が好きであれば、クラスで4冊程度えらび、互いに紹介しようとい。（ストーリー大会）	音と綴りのルールで学んだ知識を見つながら初めての本を頼もうとする。（ルールハント）	はじめてのDecoding	32 (クローズド・タスク)

音声から文字への5ステップス



さらに短縮10回パッケージ

アルファベットの音

3文字音の分化（先頭の音）

3文字音の分化（終わりの音）

カルタと気づき

二つで一つの音 絵本「たどりよみ」

初めての絵本10冊 「クローズドタスク」の指導方法。

0. この絵本は、10パッケージの、段階9まで（二つで一つのかたまりの音）経験した後にトライしよう。
1. 8～9冊の中で、簡単→難しい と思う順番に並べよう。（教えた先生の判断）
2. そのうち先生が皆で読みたいと思う絵本を、できれば、パワーポイントで拡大して、読み聞かせよう（**1回目**）。（この時、文字を指さしたり、どう読むのか？と**取り出して教えずに**、楽しく読み聞かせだけしよう。）
3. 児童も音で覚えて読めそうな場所（たとえば、くりかえしのセリフだけ等）を決めて、それ以外は先生が読みクラス皆で楽しもう（**2回目**）。（先生は、他の9冊も、少しずつ読み聞かせていっても良い）
4. ルールハントをする。同じ絵本のなかで、読めそうな綴り（スペル）を探しながら、やりとりをします（例：lookは、読めるね。ooは、「ウツと」習ったから等）。イレギュラーな読みもあるので、あまり深入りしない。
5. 次に、 $2 + 2 = 4$ 人のグループを作る（6人は多い）。4人に1冊、選ばせる。先生は、最初の2頁程度だけ導入を読んであげよう。これで、児童らはどの本を選ぼうか楽しみに。
6. グループの4人でその本を読んでみます。読めないところもあるので、先生に聞きに来て良い（音から読める）もの、（外来語だから読める）、（フォニックスで習ったから読める）、（だいたい推測できるから読める）を総動員して教え合くと、概ね読めることに気づいていく。
7. クラスでグループ同士、ペアになって読み聞かせる。自信が出てきたら全員に聞かせる。本を交換して2冊目へ。

初めての絵本10冊 「クローズドタスク」の指導にトライされた先生へ

学級やグループで学び合う力は、教師の予想を超えることもあります。もし、絵本指導をしてみられて、児童がすこし読み出す場面がありましたら、是非とも、メッセージを送ってください。

また、児童の顔があまり写らない「活動スナップ写真」がありましたら、読んでいる様子など、送っていただいたら嬉しいです。

kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



Oxford Reading Tree

Six in a Bed
Who is is?
Floppy Floppy
Fun at the Beach
A Good Trick
The Pancake
Reds and Blues
The Ice Cream
One Wheel

I Can
Book Week

その他

What? レオ・レオニ
Where's Spot? エリック・ヒル
Fish is Fish レオ・レオニ
Big Shark Little Shark
Anna Membrino
(Step into Reading シリーズ)

日本の子供が無理なく読める絵本は、極めて少なく、これぐらいになります（ファースト・デコーディング絵本）
2020年にはJES課題研究で、共同研究で、日本の学校の出来事を登場させた、「初めての読むための」デジタル絵本を開発しますので、楽しみにしてください。
研究チーム：柏木賀津子・鈴木渉・山下桂世子・北野ゆき